

❀ 介護が必要になったときは

老いに伴う様々な症状が現れて、介護が必要になることもあります。特に、人と一緒に生活する犬や猫では重要な問題となってきました。

老い方やそれに伴いどんな問題が出てくるかは、個々のペットによって異なります。必要な対策や介護も異なりますから、問題の原因を探りながらひとつずつ対処していくこととなります。身体的な問題はかかりつけの獣医師とよく相談しましょう。介護グッズもいろいろなものを試してみて、一番合ったものを探しましょう。

介護が必要なペットを抱えた飼い主は、ストレスを感じるのが普通です。外出に制限があったり、夜鳴きなどで寝不足になったり、体力的に疲れてしまったり、献身的に世話をしても誰も認めてくれないことに無力感を感じることもあるでしょう。反応の鈍くなったペットとのふれあいをつまらなく感じたり、完璧な介護ができないことや、もう介護が嫌だと思ってしまうことから自己嫌悪に陥ることもあります。一人で抱え込まず、家族で協力したり、飼い主仲間と情報交換をしたり、獣医師や専門家に相談することが大切です。そして、老いたペットの苦痛が激しく、回復の見込みがないときは、かかりつけの獣医師に相談して安らかに眠らせるのも愛情ある選択肢のひとつではないでしょうか。

❀ 高齢対策は若いときから

ペットを飼い始めるときや、ペットが若いときは楽しいことばかり考えて、ペットが老いたときのことは考えなかったり、考えたくないものです。しかし、どんなペットも必ず老いるのですから、若いころから先々のことを見通して対策を講じておくのが本当の愛情ではないでしょうか。いざペットが老いて色々な問題が生じてから慌てないように、老いたときのことを想定して心構えをしておきましょう。

老いは逃れられないものだとしても、人もペットも健やかに老いたいものです。そのためには、若いときからの生活習慣が重要です。特に食習慣は健康に大きな影響を与えますから、日常からペットの種類やライフステージに合った適切な食餌を適切な量与えると共に、歯の状態に気をつけることが大切です。また、ワクチンや薬で予防できる病気は予防し、不慮の事故や病気の原因となるようなものは生活環境から取り除いておきましょう。



今までペットと積み重ねてきた時間と思い出は、何物にも代えられないあなただけの宝物です。健やかに老い、介護をし、最期をみとって、ペットに満点飼い主だと思ってもらえたら、飼い主にとってこれ以上の幸せはないでしょう…

